

# 一般質問発言通告書

発言順位

5 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成26年 9月 9日

三島市議会議長 土屋俊博 様

三島市議会議員 9番 碓井 宏政



質問事項1	「児童発達支援センター」の設置に向けて
具体的内容	
<p>「気になる幼児」は増加の一途を辿り、発達支援事業の「たんぽぽ教室」や相談事業等は、満員の状況にある。特に「たんぽぽ教室」においては、平成20年度と比較すると約2倍の利用者数となっており、その対応に苦慮していることと思われる。その中で、集団生活の適応のための専門的な支援が必要な幼児が多く見られ、早急に対応することが迫られている。</p> <p>また、療育支援体制の強化と共に、相談支援体制の強化を図り、幼児から学童期までの支援相談体制を確立するために、児童発達支援センターの設置が望まれるが、以下について伺う。</p>	
1. 現状の療育支援室の取り組み状況をお聞きしたい。	
2. 特別支援教育検討会の現況はどのようなか。(市立幼稚園・保育園等への拡大・波及状況は)	
3. 児童発達支援事業への早急な取り組みが必要と考えるが、事業展開するためにはどのような諸準備(条件)が必要となるのか。	
4. 三島市が目指す、療育支援(発達・相談・地域・通所等)を確立するために、「児童発達支援センター」の設置が必要と考えるがどうか。	
また、設置のための必要な諸条件はなにか。	
質問事項2	不登校児童の実態とその対応について
具体的内容	
<p>不登校の児童が、年々増加の傾向にあると思われる。不登校の要因は複雑化し、その対応に苦慮していることと思われるが、現況を伺う。また、それに対応するための専門的(機関・人的配置等)な取り組みが必要と考え、以下について伺う。</p>	
1. 市内小・中学校における不登校児童数はどのようなか。	
2. 特定の学校に、不登校児童が多くいる状況が見られるが、どのように考えるか。	
3. 現在、不登校児童に対しての相談指導の対応は、その内容によりそれぞれの専門分野(子育て支援課・青少年相談室・障がい福祉課等)で行われているが、総合的な相談室を設置しての対応は考えられないか。	
また、不可能であれば、各部門に専門職員配置や、部門間での強固な支援体制が必要と考えるがどうか。	
質問事項3	学校教育現場において「地域の教育力」に対して望むことについて
具体的内容	
<p>学校教育現場が「地域の教育力」に対して要望することは多岐に亘り、地域には戸惑いも見られる。そこで、以下について伺う。</p>	
1. 現状の「学校支援地域本部事業」の設置状況をお聞きしたい。	
2. 学校の現場では、「地域の教育力」に対し、どのようなことを望むのか。	
3. そのことに対し、地域の理解度や、反応はどうか。	
4. 今後の進め方をお聞きしたい。	